

「日々是好日」一日一日を大切に！ 1月7日始業式より

新しい年「申年」がスタートしました。子ども達も新年のめあてをしっかりと持ち、新たな気持ちで3学期の生活を始めています。始業式では全校を代表して5年生の3人がめあてを発表しました。

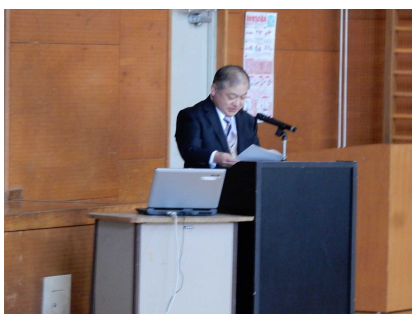
松組の平林桜羽さん「6年生の背中を見て最高学年のあるべき姿を学びたい。児童会や学校行事・金管バンドなどで、常に全校をリードして全力で取り組んでくれている6年生の姿をお手本にして、どんな時も挑戦する気持ちを忘れずに生活していきたい。」竹組の浦山和さん「2学期に頑張ることができたあいさつやノートをとることを続けてやる。マラソンや発言など2学期に達成できなかったことをできるように頑張る。児童会を引き継ぎ、支えあえる屋代小の6年生として取り組む。」梅組の中沢美晴さん「進んでマラソンに取り組む。地域や旗当番の方々に大きな声であいさつする。6年生の良いところを吸収し立派な6年生になる準備をする。」それぞれ立派な発表でした。



校長先生の話では、はじめに全校で新年のあいさつをしました。そして十二支の伝説、「猿」にちなんだ言葉や伝統・各地に伝わる伝承、などを紹介しました。（校長先生も申年です。）「一年の計は元旦にあり」という言葉から、物事を始めるときは初めに計画を立てることが大切だという話もありました。

そして禅僧が問うた「日々是好日」（にちにち これ こうにち）という言葉から、一日一日を大切に過ごして欲しいという話をしました。

～校長講話から～



「日々是好日」とは、自分が生きている今この一瞬を大事にし、いつも新鮮な気持ちで一日を過ごし、自分の生き方に手抜きをしないことが好日となるという意味です。日常生活の中では、いやなこともいっぱい起こります。「日々好日」どころか、毎日が悪日の連続ということもあるでしょう。しかし、いやなことがあった日、苦しい日でも、それを嫌と思うのではなく、自分を鍛える、自分にとってプラスになる日と考えて、一日一日を大事に過ごすようにしようということです。

ある番組で、人気のあるAKB48のデビュー当時の苦労話を紹介していました。お客さんがほとんどいないガラガラのステージで、それでもお客さんの見えない客席に手をふりながら、毎日毎日、夢を信じて一生懸命頑張りを続けたこと。今はトップスター

と言われるようになった前田敦子さんも、初めは決して歌も踊りも上手ではなく、まわりからも暗い子と言われてきたこと、時にはやめようと思いつつも今日までがんばり続けてきたことなどを話していました。高橋みなみさんは「夢はかなうと思いましたが」と言っていました。それは運がよかっただけでなく、くじけそうになりながらも、一日一日を決して手抜きしないでできたからこそその思いからなんだと思います。AKB48の一人一人が、苦しい時はあっても頑張ってきたから今があるのです。

これからみなさんは、いいことだけでなく、いやなことや悲しいこともあると思います。しかしどんなことでも自分にとってかけがえのない大切な一日として、自分の夢や目標に向かって一生懸命がんばってほしいと思います。

3学期は次の学年への準備をし、下の学年へバトンを渡すまとめの学期です。1年生は2年生になる。今は一番下ですが4月からはお兄さんお姉さんになって新しい1年生を迎え入れいろいろなことを教えてあげなければなりません。2年生、3年生、4年生も1つずつ学年が上がる準備をしてほしい。5年生は6年生を見習って学校のリーダーとして6年生からのバトンタッチをお願いしたい。6年生のみなさんにとっては小学校の生活がすべて終わる学期。悔いの無いよう最後のまとめをしっかりと行き、3月には満足して卒業して行ってほしい。

3学期は学校へ来る日が48日ととっても短いです。「日日是好日」、今は寒いけれど暖かい春をめざして毎日「笑顔いっぱい屋代小」で行こう。

最後に、休み中練習したという「365日の紙飛行機」をハーモニカで演奏しました。NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の主題歌で、子ども達もよく知っています。ハーモニカに合わせて子ども達も歌ってくれました。

信州CS支援ボランティア

読み聞かせ・琴学習

昨年、屋代小学校信州型コミュニティスクールがスタートしました。今年もボランティアの皆様には、子ども達の学習や活動等、いろいろな場面でお世話になります。よろしくお願いいたします。3学期早々から月曜日の朝の読書の時間に合わせて、読み聞かせボランティアの方々による読み聞かせが始まりました。6年生では和楽の学習に合わせ、琴の専門の先生に教えていただく機会も設けました。子ども達も普段とは違う真剣な表情で授業に臨んでいました。



ボランティアの皆さんによる読み聞かせ



6年生の琴の学習